欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1	車	業	ത	凞	要
	#	ᆽ	v,	าเม	ᅑ

(1) 事業所の名称

神田ドック株式会社 川尻工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市川尻町東2丁目14-21

(3)業種

輸送用機械器具製造業

2 計画の期間

本計画は、平成25年度(2013)年度を基準年度とし、平成26(2014)年度から令和12(2030)年度までの16年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO₂),削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度実 排出量(a)	目標年度 上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
10分種類	平成25年度	令和12年度 ()	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 ()	令和3年度
エネルギー 起源C02	8, 380	4, 190 (50. 0)	6, 637 20. 8	5, 718 31. 8	3, 933 53. 1	3, 368 59. 8	2, 399 71. 4
非エネルギー		(50.0)	20.0	31.0	55. 1	59.0	11.4
起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン							
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素							
政11一至宋		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他							
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス							
実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標:

温室効果ガス	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段:目標 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
の種類	平成25年度	令和12年度 ()	平成29年度	平成30年度	令和元年度 ()	令和2年度	令和3年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)	2, 907	1, 454 -50. 0	2453 15. 6	2180 25. 0	2838 2. 4	2753 5. 3	1130 61. 1
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c)=((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

_						
	項目	削減量等	具体的な取組			
1	燃料使用量の削減	燃料の使用量が5%削減	・省エネ型熱源機器への更新・アイドリングストップなどエコドライブの実践			
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5%削減	・冷暖房温度の適正管理・省エネ型電気機器への更新・休憩時間の消灯の徹底・高効率照明器具への変更			
3						
4						

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

_			
	種	類	合計量
1			
2			
3			

○ その他の取組

$\overline{}$	/ C * / E * / 4人/ E						
	項目削減量等		具体的な取組				
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を3%削減	・分別収集及び資源化の徹底 ・ペーパーレス化への推進				
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を5%向上	廃棄物のリサイクル製品化の実施				
3	その他		・月1回の地域清掃奉仕活動の実施 ・年1回の海浜清掃				

[※] 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。